

デンソー環境教育プログラム「ECOレンジャー21」

デンソーは基本理念で、「社会との共生を図り、国際社会から信頼される企業を目指す」ことを表明し、社会の共感を呼ぶ企業づくりに取り組んでいます。この理念のもと、事業活動の社会との共生を追及するほか、「障害者福祉」「青少年育成」「環境保全」を重点3分野として、社会貢献活動を推進しています。

ECOレンジャー21は、「青少年育成」「環境保全」の両分野にまたがる社会貢献活動であり、地域の小学生を対象とした体験型環境教育プログラムとして、2001年にスタートしました。

ECOレンジャー21の特徴は、(1)デンソーのリソース(施設・人材)を活用したプログラム内容であること、(2)社外団体と広く連携し、企業-行政-市民が一体となって運営していることです。市や町の協力を得て、環境教育の専門団体である有限会社木文化(もくぶんか)研究所と共同で企画・運営しています。プログラムごとに環境NPO、学校の教諭、デンソー社員など多彩な講師が指導にあたり、地元の大学生や市民が子どもたちのリーダー役を務めています。また、多くの社員がボランティアとして参加し、子どもたちの活動をサポートしています。

通常のECOレンジャー21の対象は、小学4年生から6年生の子どもたちです。年々コースや定員を拡大し、現在では、年間を通して5回のプログラムを行う刈谷・阿久比コースと西尾・幸田コース、2泊3日の合宿形式でプログラムを行う安城コースがあります。地域の自然観察のできる森や川、デンソーの敷地内にあるビオトープなどを主な活動場所としています。

これまでの4年間で、当社製作所のある地域(刈谷市・知多郡阿久比町・西尾市・額田郡幸田町・安城市)の子どもたち、のべ281人が同プログラムに参加し、ECOレンジャーとして巣立ちました。

以上



2003年7月実施、ECOレンジャー21(安城コース)

*水源の森を手入れし、廃木を使って小川に橋を作りました。